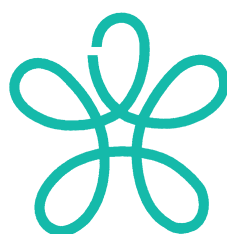


大学院総合文化研究科 履修要項

2026

令和8年度



近畿大学

この履修要項は、令和 8 年度総合文化研究科入
学生に適用されます。

修了まで大切に取り扱いってください。

総合文化研究科履修要項

目 次

総合文化研究科 教育方針	1
令和8年度近畿大学学年暦（大学院）	7
沿革（大学院関係）	8
I 大学院における学修	10
1. 履修方法・授業科目・担当教員・主要講義項目	10
2. 授業時間について	22
3. 履修登録について	22
4. 履修科目の単位認定について	22
5. 成績について	22
6. 課程の修了について	22
II 学籍関係の概略	22
1. 学籍番号	22
2. 身上異動届	22
3. 退学・休学・再入学・除籍・復学	23
III 修士論文の作成	23
1. 提出資格	23
2. 提出期限	23
3. 提出先	23
4. 提出書類	23
5. 修士論文作成上の注意事項	23
6. 修士論文審査料（手数料）	24
7. 修士の学位授与までの手順	24
IV 博士前期課程より博士後期課程に進む場合	24
V 資格取得 教育職員免許状（中学校・高等学校専修）	25
VI 証明書等発行手数料一覧	27
VII 奨学金・教育ローンについて	28

付 表 目 次

1. 修士論文審査および最終試験受験申請書	31
2. 論文表紙、論文内表紙、論文内容の要旨表紙例（日本文学専攻）	32
3. 論文表紙、論文内表紙、論文内容の要旨表紙例（英語英米文学専攻）	33
4. 論文表紙、論文内表紙、論文内容の要旨表紙例（文化・社会学専攻）	34
5. 論文表紙、論文内表紙、論文内容の要旨表紙例（心理学専攻）	35
校舎配置図（全体）	36
A館教室等配置図	37
G館教室等配置図	40
大学院に関する情報閲覧のご案内	42

総合文化研究科 教育方針

総合文化研究科 日本文学専攻

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

総合文化研究科日本文学専攻は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、専門的な知識と方法論に基づいて、物事を絶えずその本質において問い直し、新たな知的価値を創出することのできる人材を育成することを目指し、下記の学修目標としての基準を満たし、学術的に優れた修士論文を作成した者に、修士（文学）の学位を授与します。その審査基準については、別途定めた学位論文審査基準を参照してください。

1. 「言語・文学」コースでは、日本文学や日本語学の学問分野の知識や技能を修得し、物事を絶えずその本質において問い直しながら、かつ幅広く言語、文学、芸術、文化、歴史、社会、心理についての学識を有していること。
2. 「創作・批評」コースでは、日本文学や創作・批評の分野について十分な研究能力・問題解決能力を有し、新たな知的価値を創出する意志と能力を体得していること。
3. 研究の成果を社会的に通用する表現で論文にし、また発表できる、優れた日本語能力を有していること。

修士論文執筆者は、研究科の教員と大学院生の出席のもとでの修士論文発表会で口頭発表を行ったうえで、審査委員会による口頭もしくは筆記試問を受け、別に定める論文審査基準に基づいて採点されます。審査委員会では、副主査から提出された「意見書」をもとに、主査と副主査により「学位論文審査結果の報告書／論文内容の要旨」「論文審査結果の要旨」「学位論文最終試験結果の報告書」を作成し、総合文化研究科委員会において、上記報告書等を配布した上で審査内容の説明を行い、投票によって可否と数値評価を決定します。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

総合文化研究科日本文学専攻では、「言語・文学」「創作・批評」の2コースを設け、それぞれ文学研究と言語研究、創作研究と批評研究を有機的に結びつけるとともに、両コースの積極的な交流・融合を図り、より広い視野で各分野の研究に取り組むことのできる視点を養います。

1. 「言語・文学」コースの専攻科目では日本古典文学・日本近現代文学・日本語学、「創作・批評」コースの専攻科目では創作・批評の各分野についての講義を開講し、かつ学生が両コースを横断して日本文学・日本語学・創作・批評などの学問分野の知識や技能、また研究能力・問題解決能力を修得することが可能なカリキュラムとなっています。
2. 研究科のカリキュラムポリシーをふまえて専攻科目の他に共通科目と他専攻の科目をカリキュラムに組みこみ他のジャンルとの交差交流を深め、学生が幅広く言語、文学、芸術、文化、歴史、社会、心理についての学識を得ることが、カリキュラムにおいて目指されています。
3. 修士論文作成のための段階的プログラムとして、1年次の選択必修科目から2年次の「演習」へと進む専修科目を設置し、指導教員による綿密な個別指導と併せて、複数の教員による助言・検証、ゼミナール形式のもとでの学生の相互研鑽を行います。
4. 専攻での研究の成果や表現技術と思考力、創造力、および研究の成果を表現できる優れた日本語能力に基づいて修士論文を作成するための準備科目として必修の「演習」を設定しています。

各教科の学修成果は、シラバス項目の「授業概要と方法」において、定期試験、レポート、授業中の課題、プレゼンテーション、質疑応答、討論などで評価することを示し、その評価方法についても、シラバス項目の「成績評価方法および基準」に明示しています。

なお、ディプロマポリシーに学修成果として定めた資質・能力と、カリキュラムとの関連は、カリキュラムマップで示しています。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

総合文化研究科英語英米文学専攻では、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、英語に関する言語学的専門知識と英語圏の文学理論や研究法の教授を身につけた研究者、教員、高度な英語運用能力を持った人材を創出することを目的としています。修了した者には、修士（文学）の学位を授与します。その審査基準については、別途定めた学位論文審査基準を参照してください。

英語英米文学専攻が定めた学位取得までに身につけておくべき資質・能力は以下の通りです。

1. 英語についての学問的な知識や英語圏の文学研究を基盤に研究者の第一歩となる資質。
2. 英語圏の文学研究や英語教育・応用言語学研究の専門知識ばかりでなく、領域横断的志向による幅広い教養力と斬新な研究を行う力。
3. 国際社会でも活躍できるさらに実践的で英語運用能力と社会の文化レベルを支える高度な教養力。

修士論文執筆者は、研究科の教員と大学院生の出席のもとでの修士論文発表会で口頭発表を行ったうえで、審査委員会による口頭もしくは筆記試問を受け、別に定める論文審査基準に基づいて採点されます。審査委員会では、副主査から提出された「意見書」をもとに、主査と副主査により「学位論文審査結果の報告書／論文内容の要旨」「論文審査結果の要旨」「学位論文最終試験結果の報告書」を作成し、総合文化研究科委員会において、上記報告書等を配布した上で審査内容の説明を行い、投票によって可否と数値評価を決定します。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

総合文化研究科英語英米文学専攻は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、専攻科目と共通科目を柱とした教育を行います。専門分野では、英語圏文学、英語教育・応用言語学の深い知識を修得する一方、境界を超えて他専攻の科目を自由に履修できるカリキュラムを提供します。高度な英語運用能力を基盤として、学際的視野に立てる大学院生を養成します。また、中学校・高等学校教諭専修免許（英語）を取得できます。

1. 言語としての英語の専門的知識を持った人材や英語圏の詩歌、小説、その他の文学作品を深く研究できる人材を育成します。
2. 言語の習得と教育について専門知識を身につけ、また文学研究の方法論指導と先行研究渉猟により、優れた教員や専門の研究者を育成します。
3. 高い英語運用能力の涵養と専門的な研究とともに、専門領域を横断する交流により学際的な視野に立ち、斬新な視点による多面的研究の可能性を高めます。
4. 修士論文執筆のための段階的プログラムとして、1年次の選択必修科目から2年次の「演習」へと進む専修科目を設置し、指導教員による綿密な個別指導と併せて、複数の教員による助言・検証、ゼミナール形式のもとでの学生の相互研鑽を行います。
5. 各科目の学修成果は、シラバス項目の「授業概要と方法」において、定期試験、レポート、授業中の課題、プレゼンテーション、質疑応答などで評価することを示し、その評価方法についても、シラバス項目の「成績評価方法および基準」に明示しています。

各科目の学修成果はシラバスに明示するレポート、小テスト、指導教授や他の大学院生とのディスカッション、「演習」での個別指導などを通して、総合的に評価します。

なお、ディプロマポリシーに学修成果として定めた資質・能力と、カリキュラムとの関連は、カリキュラムマップで示しています。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

総合文化研究科文化・社会学専攻は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、歴史学・現代文化学・社会学・都市学の各コースにおいて、専門的な能力と総合的な視野を持ち、国際社会・地域社会で主体的かつ創造的に活動できる人材を養成します。歴史学コース・現代文化学コースの修了生には修士（文化学）の学位を、社会学コース・都市学コースの修了生には修士（社会学）の学位を授与します。その審査基準については、別途定めた学位論文審査基準を参照してください。学位取得までに修得しておくべき学修成果の要件は以下の通りです。

1. 歴史学コースでは、史資料を適切に扱い、古今東西の人類の営みを客観的に観察し、長期的視野で物事をとらえ、それを鑑として現代を見ることができること。
2. 現代文化学コースでは、現代の社会文化に対するアクチュアルで自発的な問題意識を持ち、身の回りや社会で生起している諸問題に対する鋭敏な洞察力と健全な批判精神を身につけていること。
3. 社会学コースでは、グローバルに展開し、複雑化する現代社会を理論と実践のバランスのとれた総合的な研究を通じて的確に理解し、現代社会が直面する社会問題に取り組み、あるべき社会の姿を考えていく能力を体得していること。
4. 都市学コースは都市問題や地域問題を対象に、その解決に向けて実践的な研究を行い、都市社会学・都市地理学・都市計画学・環境政策学などを用いた学際的アプローチによって、まちづくり、地域活性化、観光、環境問題など都市・地域をとりまく現代的課題を探究する能力を有していること。
5. それぞれの研究分野において高度な専門知識を修得するとともに、それを有為に活用する総合的な洞察力、思考力、批判精神を涵養していること。
6. 国際社会や地域社会において広く活躍できる公共的なコミュニケーション能力（言語能力）と、その基礎となる豊かな教養を体得していること。
7. 各専門分野の研究を通して人間の多様な営為に対する普遍的考察を行い、社会の未来を主体的かつ実践的に模索することができる知性と倫理をつねに涵養していること。

修士論文執筆者は、研究科の教員と大学院生の出席のもとでの修士論文発表会で口頭発表を行ったうえで、審査委員会による口頭もしくは筆記試験を受け、別に定める論文審査基準に基づいて採点されます。審査委員会では、副主査から提出された「意見書」をもとに、主査と副主査により「学位論文審査結果の報告書／論文内容の要旨」「論文審査結果の要旨」「学位論文最終試験結果の報告書」を作成し、総合文化研究科委員会において、上記報告書等を配布した上で審査内容の説明を行い、投票によって可否と数値評価を決定します。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

総合文化研究科文化・社会学専攻には、歴史学コース・現代文化学コース・社会学コース・都市学コースという4コースを設けています。各コースの教育方針と、専攻全体に関わる教育課程の編成方針は、以下の通りです。

1. 歴史学コースでは、人類の形成した諸文明の多様性に関心をもち、真摯に史資料に基づいて人類の営みが時間を経て変容する過程を明らかにし、それに基づいて未来を展望する能力を養います。
2. 現代文化学コースでは、日本および世界でリアル・タイムに起こっている諸事象を広く視野におさめ、多様な見方と柔軟な思考力を身につけながら、社会と人間のあり方について洞察力を深めます。
3. 社会学コースでは、複雑化する現代社会について、理論と実践のバランスのとれた総合的な研究を行い、これを的確に理解することで、現代社会が直面する社会問題の解決について、あるべき社会の姿を考えていく能力を養います。
4. 都市学コースでは、まちづくり、地域活性化、観光、環境問題など都市・地域をとりまく現代的課題の所在や解決方法を理解するために、都市社会学・都市地理学・都市計画学・環境政策学・環境情報学に関する専門科目を

設置します。学生は、それらの分野を超えて履修することで、都市問題や地域問題を学際的に捉え、分析し、解決方法を考察する能力を身につけます。

5. 各分野における基軸となる専門科目（選択必修科目）を通して研究テーマを深く掘り下げるとともに、コース間の積極的な相互浸透を図ることによって、専門的な知を有機的に結合する学際的な視点や方法を養います。
6. コースの専門科目に加えて、研究科全体にわたる共通科目を開講し、多様な専門領域に通底する共通の学問的基盤への認識を深めつつ、豊かな学識と幅広い視野から自身の研究を位置づけることを促します。
7. 修士論文作成のための段階的プログラムとして、1年次の選択必修科目から2年次の「演習」へと進む専修科目を設置し、指導教員による綿密な個別指導と併せて、複数の教員による助言・検証、ゼミナール形式のもとでの学生の相互研鑽を行います。

各科目の学修成果は、シラバス項目の〔授業概要と方法〕において、定期試験、レポート、授業中の課題、プレゼンテーション、質疑応答などで評価することを示し、その評価方法についても、シラバス項目の〔成績評価方法および基準〕に明示しています。

なお、ディプロマポリシーに学修成果として定めた資質・能力と、カリキュラムとの関連は、カリキュラムマップで示しています。

ディプロマポリシー（学位授与の方針）

総合文化研究科心理学専攻は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、科学的な態度と確かな学識、論理的正当性に裏打ちされた、研究活動を行うだけでなく、人々のウェルビーイングおよび人間の生の基盤である社会の改善・発展にとって必要な解決すべき問題を拾い上げ、その解決に貢献する人材の育成を目的としています。

その目的の達成に向けて、以下の資質・能力を有するとともに、学術的に優れた修士論文を作成した者には、修士（心理学）の学位を授与します。その審査基準については、別途定めた学位論文審査基準を参照してください。

1. 心理学コースでは、人間の心的活動や行動のメカニズムについて、理論的、実証的に究明し、さまざまな環境や社会的場面における心理学的諸問題を見出し、その解決法を探り、生活や生きがいの充実を考えていること。
2. 臨床心理学コースでは、心理学の基礎知識を前提に、医療、教育、産業、福祉、司法などの領域における心理臨床的な実践方法を学び、実証的な研究を行っていること。ならびに、援助技法、査定技法を習得するとともに高い倫理観を持った専門家としての能力を体得していること。
3. それぞれの研究分野において高度な専門知識を修得するとともに、それを有為に活用する総合的な洞察力、思考力、批判精神を涵養していること。
4. 国際社会や地域社会において広く活躍できる公共的なコミュニケーション能力（言語能力）と、その基礎となる豊かな教養を体得していること。
5. 各専門分野の研究を通して人間の多様な営為に対する普遍的考察を行い、社会の未来を主体的かつ実践的に模索することができる知性と倫理をつねに涵養していること。

修士論文執筆者は、研究科の教員と大学院生の出席のもとでの修士論文発表会で口頭発表を行ったうえで、審査委員会による口頭もしくは筆記試問を受け、別に定める論文審査基準に基づいて採点されます。審査委員会では、副主査から提出された「意見書」をもとに、主査と副主査により「学位論文審査結果の報告書／論文内容の要旨」「論文審査結果の要旨」「学位論文最終試験結果の報告書」を作成し、総合文化研究科委員会において、上記報告書等を配布した上で審査内容の説明を行い、投票によって可否と数値評価を決定します。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

総合文化研究科心理学専攻では、論理的正当性に裏打ちされた研究活動を行い、人々のウェルビーイングおよび社会の改善・発展にとって解決すべき問題を拾い上げ、その解決に貢献する人材の育成を目的として、これを実現するために、心理学コースと臨床心理学コースを設けています。

心理学コースでは、知覚や認知などの基礎的領域から社会心理・産業心理などの応用的領域にわたって人間行動を解明できる知識の修得および新しい知識の生成を目指します。臨床心理学コースでは、基礎的な心理学の土台の上に、地域社会での心のケアとサポートを提供できる専門家の育成を目指します。

1. 心理学コースでは、人間と社会についての理解と問題解決力を養うために、基軸となる専門科目（選択必修科目）を通して研究すべきテーマを深く掘り下げるとともに、専門的な知を有機的に結合する学際的な視点や方法の修得を目指します。
2. 臨床心理学コースでは、公認心理師および臨床心理士に必要とされる心理学の基礎知識、ならびに医療、教育、産業、福祉、司法など関連する領域における心理臨床的な実践方法を学び、実証的な研究を行います。また各種実習科目において援助技法、査定技法を習得するとともに高い倫理観を持った専門家としての能力の習得を目指します。
3. いずれのコースにおいても専門科目に加えて、社会や文化、歴史といった視点も含め人間を総合的に考察するた

めに共通科目を開講し、多様な専門領域に通底する共通の学問的基盤への認識を深めつつ、豊かな学識と幅広い視野から自身の研究を位置づけることを目指します。

4. 学術的に優れた修士論文の作成を目指し、段階的なプログラムを設けています。1年次の選択必修科目から2年次の「演習」へと進む専修科目を設置し、指導教員による綿密な個別指導と併せて、ゼミナール形式のもとでの学生の相互研鑽や、各種発表会等での複数の教員による助言・検証により、研究を練り上げていきます。

各科目の学修成果は、シラバス項目の〔授業概要と方法〕において、定期試験、レポート、授業中の課題、プレゼンテーション、質疑応答などで評価することを示し、その評価方法についても、シラバス項目の〔成績評価方法および基準〕に明示しています。また、修士論文については、「近畿大学大学院総合文化研究科における修士論文の評価基準」に沿って、ルーブリック評価により数値化して、その成果を確認します。

なお、ディプロマポリシーに学修成果として定めた資質・能力と、カリキュラムとの関連は、カリキュラムマップで示しています。

令和8年度 近畿大学学年暦（大学院）

4月1日（水）	令和8年度 年度始め
	入学式（東大阪キャンパス・農学研究科・医学研究科・生物理工学研究科）
4月2日（木）	システム工学研究科入学式
4月3日（金）	産業理工学研究科入学式
4月上旬	令和8年度 履修指導および履修登録 ※ 履修登録期間は各研究科毎に設定
4月6日（月）	前期授業開始 ※
7月4日（土）	令和9年度 博士前期・修士課程 学内推薦入学選考
8月4日（火）	前期授業終了（試験期間を含む） ※
8月5日（水）～ 9月13日（日）	夏 期 休 暇 ※
9月12日（土）	令和9年度 博士前期・修士課程 入学選考 令和9年度 博士後期・博士課程 入学選考 (法学・経済学・医学研究科を除く研究科実施)
9月14日（月）	後 期 授 業 開 始 ※
11月1日（日）～ 4日（水）	大 学 祭 （ 休 講 ） ※
11月5日（木）	大 学 創 立 記 念 日
12月23日（水）	年 内 授 業 終 了 ※
12月24日（木）～ 1月7日（木）	冬 期 休 暇 ※
1月8日（金）	授 業 再 開 ※
1月9日（土）	令和9年度 博士課程 入学選考（薬学研究科薬学専攻・医学研究科のみ実施）
2月20日（土）	令和9年度 博士前期・修士課程 入学選考 令和9年度 博士後期・博士課程 入学選考
3月18日（木）	学位記授与式（東大阪キャンパス）
3月31日（水）	令 和 8 年 度 年 度 終 了

※東大阪キャンパスについて記載

行事等の予定は変更されることがあります。

沿 革（大学院関係）

大正	14年	大阪専門学校設立
昭和	18年	大阪理工科大学設立
	24年	新学制により大阪理工科大学、大阪専門学校を合併し、近畿大学設立
	26年	財団法人近畿大学を学校法人近畿大学に名称変更
	27年	大学院商学研究科、化学研究科修士課程設置
	45年	大学院工学研究科（応用化学、機械工学、土木工学、建築学、電子工学）修士課程、 法学研究科（法律学）修士課程、商学研究科（商学）博士課程設置
	47年	大学院工学研究科（応用化学、機械工学、土木工学、電子工学）、化学研究科（化学）、 法学研究科（法律学）各博士課程設置
	55年	大学院医学研究科（生理学系、病理学系、社会医学系、内科学系、外科学系）博士課程、 薬学研究科（薬学）修士課程設置
	60年	大学院薬学研究科（薬学）博士課程、農学研究科（農学、農芸化学）修士課程設置
	61年	大学院農学研究科（水産学）修士課程設置
平成	元年	大学院農学研究科（農学、水産学、農芸化学）博士課程、経済学研究科（経済学） 修士課程設置
	3年	大学院経済学研究科（経済学）博士課程設置
	4年	大学院産業技術研究科（物質工学、電子情報工学）修士課程設置
	6年	大学院文芸学研究科（日本文学、英米文学、国際文化）、工業技術研究科（物質化学、 建築学）、産業技術研究科（造形学、経営工学）各修士課程、産業技術研究科（物質工学、 電子情報工学）博士課程設置
	8年	大学院工業技術研究科（システム制御専攻、生産システム専攻）修士課程、（物質化学専攻） 博士課程、産業技術研究科（造形学専攻、経営工学専攻）博士課程設置
	9年	大学院生物理工学研究科（生物工学専攻、電子システム情報工学専攻、機械制御工学専攻） 修士課程設置
	10年	大学院工業技術研究科（システム設計工学）博士後期課程設置
	11年	大学院総合理工学研究科（理学専攻、物質系工学専攻、メカニクス系工学専攻、 エレクトロニクス系工学専攻、環境系工学専攻）博士前期課程、後期課程、農学研究科（ 国際資源管理学専攻）修士課程、生物理工学研究科（生物工学専攻、電子システム情報工学専攻） 博士後期課程設置
		大学院化学研究科、工学研究科学生募集停止
		大学院農学研究科農芸化学専攻を応用生命化学専攻に名称変更
	15年	大学院文芸学研究科英米文学専攻を英語英米文学専攻に名称変更
	16年	法科大学院開設
		大学院総合理工学研究科に東大阪モノづくり専攻修士課程設置
	17年	大学院農学研究科改組により、農業生産科学専攻、水産学専攻、応用生命化学専攻、 環境管理学、バイオサイエンス専攻設置
		大学院工業技術研究科改組により、システム工学研究科（システム工学専攻）博

		士前期課程、後期課程設置
20年		大学院総合理工学研究科に東大阪モノづくり専攻博士後期課程設置 大学院医学研究科改組により医学系専攻設置
22年		大学院薬学研究科薬科学専攻修士課程設置
24年		大学院薬学研究科薬科学専攻博士後期課程、薬学専攻博士課程設置
25年		大学院産業理工学研究科修士課程設置（産業技術研究科から改組）
26年		大学院総合文化研究科修士課程設置（文芸学研究科から改組） 大学院生物理工学研究科電子システム情報工学専攻、機械制御工学専攻から生体システム工学専攻へ改組
27年		大学院総合理工学研究科建築デザイン専攻修士課程設置 大学院産業理工学研究科博士後期課程設置（産業技術研究科から改組）
28年		大学院生物理工学研究科生体システム工学専攻博士後期課程設置
30年		法科大学院学生募集停止
令和3年		法科大学院廃止
令和5年		実学社会起業イノベーション学位プログラム設置

I 大学院における学修

1. 履修方法・授業科目・担当教員・主要講義項目

◇総合文化研究科 日本文学専攻

修士課程

《履修方法》

1. 2年以上在学し、自専攻の選択必修科目の中から選定した2科目4単位と演習4単位（これらをその学生の専修科目とし、この担当者を指導教員とする）を必修とし、さらに共通科目4単位以上及び専修科目を除く自専攻の授業科目から8単位以上を含む、合計30単位以上を修得しなければならない。
2. 他専攻又は本学大学院他研究科から修得した授業科目の単位については、10単位を限度として所定の単位数に充当することができる。なお、心理学専攻臨床心理学コースの科目は履修不可。

授 業 科 目	単 位 数			担 当 教 員	
	必 修	選 択 必 修	選 択		
言 語 ・ 文 学 コー ス	古 典 詩 歌 特 論 A		2	教 授	井 田 太 郎
	古 典 詩 歌 特 論 B		2		
	古 典 散 文 特 論 1 A		2	教 授	藤 卷 和 宏
	古 典 散 文 特 論 1 B		2		
	古 典 散 文 特 論 2 A		2	非 常 勤 講 師	宮 下 雅 恵
	古 典 散 文 特 論 2 B		2		
	近 世 文 学 特 論 A		2	教 授	井 田 太 郎
	近 世 文 学 特 論 B		2		
	近 現 代 文 学 特 論 1 A		2	非 常 勤 講 師	大 澤 聡
	近 現 代 文 学 特 論 1 B		2		
	近 現 代 文 学 特 論 2 A		2	准 教 授	泉 谷 瞬
	近 現 代 文 学 特 論 2 B		2		
	日 本 語 学 特 論 1 A		2	准 教 授	大 田 垣 仁
	日 本 語 学 特 論 1 B		2		
	日 本 語 学 特 論 2 A		2	准 教 授	深 澤 愛
	日 本 語 学 特 論 2 B		2		
	日 本 語 研 究 A		2	准 教 授	原 田 信
	日 本 語 研 究 B		2	教 授	李 潤 玉
	日 本 文 学 研 究 基 礎 1 A ※ 1		2	准 教 授	大 田 垣 仁
	日 本 文 学 研 究 基 礎 1 B ※ 1		2		
日 本 文 学 研 究 基 礎 2 A ※ 1		2	准 教 授	深 澤 愛	
日 本 文 学 研 究 基 礎 2 B ※ 1		2			

授 業 科 目	単 位 数			担 当 教 員
	必 修	選 択 必 修	選 択	
創 作 ・ 批 評 コ ー ス	フ イ ク シ ョ ン 研 究 1 A		2	准 教 授 谷 崎 由 依
	フ イ ク シ ョ ン 研 究 1 B		2	
	フ イ ク シ ョ ン 研 究 2 A	2		教 授 小 森 健 太 郎
	フ イ ク シ ョ ン 研 究 2 B	2		
	創 作 ・ 批 評 特 論 1 A	2		教 授 榎 原 丈 和
	創 作 ・ 批 評 特 論 1 B	2		
	創 作 ・ 批 評 特 論 2 A	2		教 授 中 島 一 夫
	創 作 ・ 批 評 特 論 2 B	2		
	創 作 ・ 批 評 特 論 3 A	2		教 授 八 角 聡 仁
	創 作 ・ 批 評 特 論 3 B	2		
	翻 訳 文 学 特 論 A		2	教 授 徳 永 恭 子
	翻 訳 文 学 特 論 B		2	准 教 授 中 野 徹
演 習 A ※ 2	2		選 択 必 修 科 目 担 当 各 教 員	
演 習 B ※ 2	2			

授 業 科 目			単 位 数			担 当 教 員	
			必 修	選 択 必 修	選 択		
共 通	学 術	学 術 基 礎 1 A			2	非 常 勤 講 師	渡 邊 親 文
		学 術 基 礎 1 B			2		
		学 術 基 礎 2 A			2	非 常 勤 講 師	渡 邊 親 文
		学 術 基 礎 2 B			2		
		学 術 統 計 研 究			2	准 教 授 准 教 授	中 川 知 宏 上 野 将 敬
	日 本	日 本 芸 能 史 特 論 A			2	准 教 授	倉 橋 正 恵
		日 本 芸 能 史 特 論 B			2		
		日 本 思 想 史 特 論 A			2	非 常 勤 講 師	櫻 木 潤
		日 本 思 想 史 特 論 B			2		
		日 本 文 化 史 特 論 A			2	教 授	松 岡 久 美 子
		日 本 文 化 史 特 論 B			2		
	国 際	国 際 交 流 特 論 A			2	教 授	好 並 晶
		国 際 交 流 特 論 B			2		
		国 際 地 域 社 会 特 論 A			2	教 授	鈴 木 光 祐
		国 際 地 域 社 会 特 論 B			2	准 教 授	西 村 香 奈 絵
	地 域	都 市 社 会 学 特 論 A			2	教 授	松 本 行 真
		都 市 社 会 学 特 論 B			2		
		地 域 社 会 基 盤 特 論 A			2	講 師	大 野 司 郎
		地 域 社 会 基 盤 特 論 B			2		
		地 域 福 祉 特 論 A (福 祉 分 野 に 関 する 理 論 と 支 援 の 展 開)			2	非 常 勤 講 師	綾 部 貴 子
		地 域 福 祉 特 論 B (家 族 関 係 ・ 集 団 ・ 地 域 社 会 に お け る 心 理 支 援 に 関 する 理 論 と 実 践)			2	非 常 勤 講 師	青 野 明 子

(上記担当教員名は、令和8年4月現在)

※1は外国人留学生特例科目。

※2は2年次配当科目。

◇総合文化研究科 英語英米文学専攻

修士課程

《履修方法》

1. 2年以上在学し、自専攻の選択必修科目の中から選定した2科目4単位と演習4単位（これらをその学生の専修科目とし、この担当者を指導教員とする）を必修とし、さらに共通科目4単位以上及び専修科目を除く自専攻の授業科目から8単位以上を含む、合計30単位以上を修得しなければならない。
2. 他専攻又は本学大学院他研究科から修得した授業科目の単位については、10単位を限度として所定の単位数に充当することができる。なお、心理学専攻臨床心理学コースの科目は履修不可。

授 業 科 目	単 位 数			担 当 教 員
	必 修	選 択 必 修	選 択	
ルネサンス文学特論 A		2		教 授 藤 澤 博 康
ルネサンス文学特論 B		2		
イギリス啓蒙主義時代特論 A		2		不 開 講
イギリス啓蒙主義時代特論 B		2		
イギリス近現代文学特論 A			2	講 師 大 山 美 代
イギリス近現代文学特論 B			2	
アメリカ近現代文学特論 A		2		教 授 辻 和 彦
アメリカ近現代文学特論 B		2		
英米文化特論 A		2		教 授 田 中 ちはる
英米文化特論 B		2		
比較文学特論 A		2		教 授 藤 澤 博 康
比較文学特論 B		2		
英語圏文学特論 A		2		教 授 松 本 ユ キ
英語圏文学特論 B		2		
英語教育学特論 A		2		准 教 授 藤 永 史 尚
英語教育学特論 B		2		
応用言語学特論 A			2	講 師 吉 田 諭 史
応用言語学特論 B			2	
英米文学理論特論		2		教 授 小 宮 真 樹 子
中世英文学特論		2		
演習 A ※ 1	2			選 択 必 修 科 目 担 当 各 教 員
演習 B ※ 1	2			

授 業 科 目			単 位 数			担 当 教 員	
			必 修	選 択 必 修	選 択		
共 通	学 術	学 術 基 礎 1 A			2	非 常 勤 講 師	渡 邊 親 文
		学 術 基 礎 1 B			2		
		学 術 基 礎 2 A			2	非 常 勤 講 師	渡 邊 親 文
		学 術 基 礎 2 B			2		
		学 術 統 計 研 究			2	准 教 授 准 教 授	中 川 知 宏 上 野 将 敬
	日 本	日 本 芸 能 史 特 論 A			2	准 教 授	倉 橋 正 恵
		日 本 芸 能 史 特 論 B			2		
		日 本 思 想 史 特 論 A			2	非 常 勤 講 師	櫻 木 潤
		日 本 思 想 史 特 論 B			2		
		日 本 文 化 史 特 論 A			2	教 授	松 岡 久 美 子
		日 本 文 化 史 特 論 B			2		
	国 際	国 際 交 流 特 論 A			2	教 授	好 並 晶
		国 際 交 流 特 論 B			2		
		国 際 地 域 社 会 特 論 A			2	教 授	鈴 木 光 祐
		国 際 地 域 社 会 特 論 B			2	准 教 授	西 村 香 奈 絵
	地 域	都 市 社 会 学 特 論 A			2	教 授	松 本 行 真
		都 市 社 会 学 特 論 B			2		
		地 域 社 会 基 盤 特 論 A			2	講 師	大 野 司 郎
		地 域 社 会 基 盤 特 論 B			2		
		地 域 福 祉 特 論 A (福 祉 分 野 に 関 する 理 論 と 支 援 の 展 開)			2	非 常 勤 講 師	綾 部 貴 子
		地 域 福 祉 特 論 B (家 族 関 係 ・ 集 団 ・ 地 域 社 会 に お け る 心 理 支 援 に 関 する 理 論 と 実 践)			2	非 常 勤 講 師	青 野 明 子

(上記担当教員名は、令和8年4月現在)

※1は2年次配当科目。

◇総合文化研究科 文化・社会学専攻

修士課程

《履修方法》

1. 2年以上在学し、自コースの選択必修科目の中から選定した2科目4単位と演習4単位(これらをその学生の専修科目とし、この担当者を指導教員とする)を必修とし、さらに共通科目4単位以上及び専修科目を除く自コースの授業科目から8単位以上を含む、合計30単位以上を修得しなければならない。
2. 他専攻・他コース又は本学大学院他研究科から修得した授業科目の単位については、10単位を限度として所定の単位数に充当することができる。なお、心理学専攻臨床心理学コースの科目は履修不可。

授 業 科 目	単 位 数			担 当 教 員		
	必 修	選 択 必 修	選 択			
歴史学コース	日本古代史特論 A		2	教 授	鈴 木 拓 也	
	日本古代史特論 B		2			
	日本中近世史特論 A		2	准 教 授	新 谷 和 之	
	日本中近世史特論 B		2			
	日本近現代史特論 A		2	教 授	人 見 佐 知 子	
	日本近現代史特論 B		2			
	考古学特論 A		2	教 授	網 伸 也	
	考古学特論 B		2			
	民俗学特論 A		2	教 授	藤 井 弘 章	
	民俗学特論 B		2			
	西洋古代史特論 A			2	講 師	石 田 真 衣
	西洋古代史特論 B			2		
	西洋近現代史特論 A		2	教 授	辻 河 典 子	
	西洋近現代史特論 B		2			
	エジプト学特論 A			2	講 師	高 橋 寿 光
	エジプト学特論 B			2		
	東洋文化特論 A		2	教 授	上 田 貴 子	
	東洋文化特論 B		2			
人文地理学特論 A			2	講 師	阿 部 美 香	
人文地理学特論 B			2			
現代文化学コース	哲学・倫理学研究 A		2	准 教 授	白 水 士 郎	
	哲学・倫理学研究 B		2			
	ジェンダー研究 A			2	講 師	伏 見 裕 子
	ジェンダー研究 B			2		
	メディア研究 A		2	不 開 講		
	メディア研究 B		2			
	空間文化特論 A		2	不 開 講		
	空間文化特論 B		2			
	身体文化特論 A		2	教 授	梅 山 いつき	
	身体文化特論 B		2			
	文化政策特論 A		2	准 教 授	梅 原 宏 司	
文化政策特論 B		2				

授 業 科 目		単 位 数			担 当 教 員	
		必 修	選 択 必 修	選 択		
社会学コース	現代社会特論 1 A		2		不 開 講	
	現代社会特論 1 B		2			
	現代社会特論 2 A		2		教 授	松 本 行 真
	現代社会特論 2 B		2		准 教 授	齋 藤 暁 子
	現代社会特論 3 A		2		教 授	岡 本 健
	現代社会特論 3 B		2			
	現代社会特論 4 A		2		准 教 授	岡 野 英 之
	現代社会特論 4 B		2			
	多文化社会特論 1 A			2	教 授	西 尾 雄 志
	多文化社会特論 1 B			2		
	理論社会学特論 A		2		教 授	辻 竜 平
	理論社会学特論 B		2			
	経験社会学特論 1 A			2	講 師	豊 永 耕 平
	経験社会学特論 1 B			2		
	経験社会学特論 2 A			2	教 授	小 林 剛 士
経験社会学特論 2 B			2			
都市学コース	都市学特論 A			2	教 授	藤 田 香
	都市学特論 B			2		
	都市政策特論 A		2		教 授	石 原 肇
	都市政策特論 B		2			
	地域政策特論 A		2		教 授	戸 井 田 克 己
	地域政策特論 B		2			
	地域社会特論 A		2		教 授	飯 塚 公 藤
	地域社会特論 B		2			
	地理情報学特論 A		2		教 授	田 中 晃 代
	地理情報学特論 B		2			
	まちづくり特論 A		2		教 授	中 田 真 木 子
	まちづくり特論 B		2			
	環境情報科学 A		2		教 授	今 西 亜 友 美
	環境情報科学 B		2			
	自然環境特論 A		2		講 師	野 田 満
自然環境特論 B		2				
地域経済学特論 A			2	講 師	野 田 満	
地域経済学特論 B			2			
演 習 A ※ 1	2			選択必修科目担当各教員		
演 習 B ※ 1	2					

授 業 科 目			単 位 数			担 当 教 員	
			必 修	選 択 必 修	選 択		
共 通	学 術	学 術 基 礎 1 A			2	非 常 勤 講 師	渡 邊 親 文
		学 術 基 礎 1 B			2		
		学 術 基 礎 2 A			2	非 常 勤 講 師	渡 邊 親 文
		学 術 基 礎 2 B			2		
		学 術 統 計 研 究			2	准 教 授 准 教 授	中 川 知 宏 上 野 将 敬
	日 本	日 本 芸 能 史 特 論 A			2	准 教 授	倉 橋 正 恵
		日 本 芸 能 史 特 論 B			2		
		日 本 思 想 史 特 論 A			2	非 常 勤 講 師	櫻 木 潤
		日 本 思 想 史 特 論 B			2		
		日 本 文 化 史 特 論 A			2	教 授	松 岡 久 美 子
		日 本 文 化 史 特 論 B			2		
	国 際	国 際 交 流 特 論 A			2	教 授	好 並 晶
		国 際 交 流 特 論 B			2		
		国 際 地 域 社 会 特 論 A			2	教 授	鈴 木 光 祐
		国 際 地 域 社 会 特 論 B			2	准 教 授	西 村 香 奈 絵
	地 域	都 市 社 会 学 特 論 A			2	教 授	松 本 行 真
		都 市 社 会 学 特 論 B			2		
		地 域 社 会 基 盤 特 論 A			2	講 師	大 野 司 郎
		地 域 社 会 基 盤 特 論 B			2		
		地 域 福 祉 特 論 A (福 祉 分 野 に 関 する 理 論 と 支 援 の 展 開)			2	非 常 勤 講 師	綾 部 貴 子
		地 域 福 祉 特 論 B (家 族 関 係 ・ 集 団 ・ 地 域 社 会 に お け る 心 理 支 援 に 関 する 理 論 と 実 践)			2	非 常 勤 講 師	青 野 明 子

(上記担当教員名は、令和8年4月現在)

※1は2年次配当科目。

◇総合文化研究科 心理学専攻

修士課程

《履修方法》

- 2年以上在学し、自コースの選択必修科目の中から選定した2科目4単位と演習4単位(これらをその学生の専修科目とし、この担当者を指導教員とする)を必修とし、さらに共通科目4単位以上及び専修科目を除く自コースの授業科目から8単位以上を含む、合計30単位以上を修得しなければならない。
- 他専攻又は本学大学院他研究科から修得した授業科目の単位については、10単位を限度として所定の単位数に充当することができる。なお、臨床心理学コース以外の学生は臨床心理学コースの科目は履修不可。

授 業 科 目	単 位 数			担 当 教 員	
	必 修	選 択 必 修	選 択		
心理学コース	心理学研究法特論 A		2	教授	漆原宏次
	心理学研究法特論 B		2		
	人間関係特論 A		2	教授	堀塩中 田崎川 美麻里 保子宏
	人間関係特論 B		2		
	基礎心理学特論		2	教授	漆原宏次
	人格心理学特論		2	非常勤講師	三宅麻希
	認知心理学特論		2	准教授	遠藤信貴
	産業心理学特論		2	准教授	佐藤望
	犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)		2	非常勤講師	二見真美
	医療心理学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)		2	非常勤講師	長中 田島 道歩
臨床心理学コース	臨床研究法特論 A		2	教授	小本直典 泉岡井野 隆寛愛洋 平子里子
	臨床研究法特論 B		2		
	臨床心理学特論 A		2	教授	小泉隆平
	臨床心理学特論 B		2	教授	本岡寛子
	臨床心理面接特論 A (心理支援に関する理論と実践)		2	准教授	高橋高人
	臨床心理面接特論 B		2	講師	長田 道
	臨床心理査定演習 1 (心理的アセスメントに関する理論と実践)		2	教授	小長中 泉田西 隆平 平道陽
	臨床心理査定演習 2		2	教授	本中 岡西 寛子 陽
	臨床心理基礎実習 1		1	教授	小本高中 泉岡橋西 隆寛高 平子人陽
	臨床心理基礎実習 2		1		
	臨床心理実習 1		1	教授	直長 井田 愛里 道
	臨床心理実習 2		1	教授	直長 井田 愛里 道
	教育分野に関する理論と支援の展開		2	准教授	高橋 高人
	心理療法特論		2	非常勤講師	荒井 久美子
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開		2	非常勤講師	小林 由佳
	心の健康教育に関する理論と実践		2	教授	直井 愛里
	投影法特論		2	非常勤講師	小兵 西 宏純 幸子
	心理実践実習 A		5	教授	小本高中 泉岡橋西 隆寛高 平子人陽
心理実践実習 B ※ 1		5	非常勤講師	直長 井田 愛里 道 友紀	

授 業 科 目			単 位 数			担 当 教 員	
			必 修	選 択 必 修	選 択		
演 習 A ※ 1			2			選 択 必 修 科 目 担 当 各 教 員	
演 習 B ※ 1			2				
共 通	学 術	学 術 基 礎 1 A			2	非 常 勤 講 師	渡 邊 親 文
		学 術 基 礎 1 B			2		
		学 術 基 礎 2 A			2	非 常 勤 講 師	渡 邊 親 文
		学 術 基 礎 2 B			2		
		学 術 統 計 研 究			2	准 教 授 准 教 授	中 川 知 宏 上 野 将 敬
	日 本	日 本 芸 能 史 特 論 A			2	准 教 授	倉 橋 正 恵
		日 本 芸 能 史 特 論 B			2		
		日 本 思 想 史 特 論 A			2	非 常 勤 講 師	櫻 木 潤
		日 本 思 想 史 特 論 B			2		
		日 本 文 化 史 特 論 A			2	教 授	松 岡 久 美 子
		日 本 文 化 史 特 論 B			2		
	国 際	国 際 交 流 特 論 A			2	教 授	好 並 晶
		国 際 交 流 特 論 B			2		
		国 際 地 域 社 会 特 論 A			2	教 授	鈴 木 光 祐
		国 際 地 域 社 会 特 論 B			2	准 教 授	西 村 香 奈 絵
	地 域	都 市 社 会 学 特 論 A			2	教 授	松 本 行 真
		都 市 社 会 学 特 論 B			2		
		地 域 社 会 基 盤 特 論 A			2	講 師	大 野 司 郎
		地 域 社 会 基 盤 特 論 B			2		
		地 域 福 祉 特 論 A (福 祉 分 野 に 関 する 理 論 と 支 援 の 展 開)			2	非 常 勤 講 師	綾 部 貴 子
		地 域 福 祉 特 論 B (家 族 関 係 ・ 集 団 ・ 地 域 社 会 に お け る 心 理 支 援 に 関 する 理 論 と 実 践)			2	非 常 勤 講 師	青 野 明 子

(上記担当教員名は、令和8年4月現在)

※1は2年次配当科目。

◇臨床心理士養成課程（心理学専攻臨床心理学コース）

修士課程

《履修方法》

心理学専攻臨床心理学コースは、財団法人日本臨床心理士資格認定協会が認定する臨床心理士養成課程のコースである（第1種指定校）。臨床心理士の受験資格を取得するには、修士課程を修了し、心理学の修士の学位（修士論文のテーマと内容は臨床心理学に関するものであること）を取得するとともに、臨床心理士受験資格に必要な授業科目の単位を修得する必要がある。

受験資格を得るための単位修得条件は、下表に示しているように、必修科目（10科目）16単位と、選択必修科目のA群、B群、C群、D群、E群からそれぞれ2単位以上計10単位以上、合計26単位以上である。

なお、臨床心理士養成課程として開講されている科目（*印）は、臨床心理学コース以外の学生は受講できない。

また、臨床心理学コース以外の学生は、修士課程途中で臨床心理士養成課程に編入することはできない。

区分	授 業 科 目	授 業 形 態	単 位 数			備 考
			必 修	選 択 必 修	選 択	
必修	臨床心理学特論 A	講 義	2			*
	臨床心理学特論 B	講 義	2			*
	臨床心理面接特論 A (心理支援に関する理論と実践)	講 義	2			*
	臨床心理面接特論 B	講 義	2			*
	臨床心理査定演習 1 (心理的アセスメントに関する理論と実践)	演 習	2			*
	臨床心理査定演習 2	演 習	2			*
	臨床心理基礎実習 1	実 習	1			*
	臨床心理基礎実習 2	実 習	1			*
	臨床心理実習 1	実 習	1			*
臨床心理実習 2	実 習	1			*	
A群	心理学研究法特論 A	講 義		2		心理学コース
	心理学研究法特論 B	講 義		2		心理学コース
	基礎心理学特論	講 義		2		心理学コース
	臨床研究法特論 A	講 義		2		*
	臨床研究法特論 B	講 義		2		*
	学術統計研究	講 義		2		共 通
B群	人格心理学特論	講 義		2		心理学コース
	認知心理学特論	講 義		2		心理学コース
C群	人間関係特論 A	講 義		2		心理学コース
	人間関係特論 B	講 義		2		心理学コース
	犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	講 義		2		心理学コース
	地域福祉特論 B (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	講 義		2		共 通
D群	心の健康教育に関する理論と実践	講 義		2		*
	医療心理学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	講 義		2		心理学コース
	地域福祉特論 A (福祉分野に関する理論と支援の展開)	講 義		2		共 通
E群	心理療法特論	講 義		2		*
	投影法特論	講 義		2		*
合計			16	10		

◇公認心理師養成課程（心理学専攻臨床心理学コース）

修士課程

《履修方法》

心理学専攻臨床心理学コースは、国家資格である公認心理師の養成課程である。

公認心理師の受験資格を取得するためには、四年生大学において省令で定められた科目を修得した後、大学院にて下記の11科目の単位を修得する必要がある。

「心理実践実習」での450時間以上の実習は、「臨床心理学特論」「臨床心理面接特論」「臨床心理査定演習」「投映法特論」の授業内容、「臨床心理基礎実習」「臨床心理実習」で行う実習と連動しているため、これらの科目を必ず履修すること。

なお、公認心理師養成課程として開講されている、①②④⑧以外の科目は、臨床心理学コース以外の学生は受講できない。また、臨床心理学コース以外の学生は、修士課程途中で公認心理師養成課程に編入することはできない。

公認心理師の受験資格取得に必要な科目

授 業 科 目	授業形態	単 位 数			担 当 教 員	
		必 修	選 択 必 修	選 択		
①医療心理学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）	講 義	2			講 師 E d . M .	長 田 道
					非常勤講師	中 島 歩
②地域福祉特論A（福祉分野に関する理論と支援の展開）	講 義	2			非常勤講師	綾 部 貴 子
③教育分野に関する理論と支援の展開	講 義	2			准 教 授 博士(臨床心理学)	高 橋 高 人
④犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）	講 義	2			非常勤講師	二 見 真 美
⑤産業・労働分野に関する理論と支援の展開	講 義	2			非常勤講師	小 林 由 佳
⑥臨床心理査定演習1（心理的アセスメントに関する理論と実践）	講 義	2			教 授 博士(心理学)	小 泉 隆 平
					講 師 博士(心理学)	中 西 陽
					講 師 E d . M .	長 田 道
⑦臨床心理面接特論A（心理支援に関する理論と実践）	講 義	2			准 教 授 博士(臨床心理学)	高 橋 高 人
⑧地域福祉特論B（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	講 義	2			非常勤講師	青 野 明 子
⑨心の健康教育に関する理論と実践	講 義	2			教 授 E d . D .	直 井 愛 里
⑩心理実践実習A	実 習	5			教 授 博士(心理学)	小 泉 隆 平
					教 授 博士(心理学)	本 岡 寛 子
					准 教 授 博士(臨床心理学)	高 橋 高 人
					講 師 博士(心理学)	中 西 陽
⑪心理実践実習B	実 習	5			教 授 E d . D .	直 井 愛 里
					講 師 E d . M .	長 田 道
					非常勤講師	辻 本 友 紀 子

2. 授業時間について

授業は年間を通じて9時から18時15分までの間に授業時間割表により90分単位で行われます。ただし演習・実習については時間割表以外に行われることもあります。

第1時限	第2時限	第3時限	第4時限	第5時限	第6時限	第7時限
9:00～10:30	10:45～12:15	13:15～14:45	15:00～16:30	16:45～18:15	18:25～19:55	20:05～21:35

3. 履修登録について

- (1) 所属の研究科・専攻で開設されている科目の履修の選定にあたって、指導教員の指示を受けなければなりません。(学則第11条)
- (2) 年度始めの大学院ガイダンスに出席し、履修登録についての説明を受け、所定の期日までにその年度に履修予定の科目を決定・登録しなければなりません。

4. 履修科目の単位認定について

履修科目の単位認定は、試験によって各担当者が行います。試験は前期末または学年末に実施されます。ただし科目または担当者によって研究報告または平常の成果をもって試験に代えることもあります。(学則第15条)

5. 成績について

成績は100点満点で60点以上を合格とし、所定の単位が与えられます。合格点を得た科目を再度履修することは許されません。成績の評価は、優(100点～80点)、良(79点～70点)、可(69点～60点)、不可(59点以下)となっています。ただし演習および実験のような講義以外の科目については「合格」または「不合格」で示すことがあります。(学則第16条)

6. 課程の修了について

修士課程または博士前期課程において2年以上在学し、各研究科において定められた単位数(学位規程別表1参照)を修得した者または論文審査終了までに取得する見込のある者で、かつ外国語の学力等に関する検定に合格した者に対して、修士論文の提出資格が与えられ、提出した論文の審査および最終試験に合格すれば、修士の学位が授与され、「修士課程修了」又は「博士前期課程修了」ということとなります。

ただし、上記の場合において、当該博士課程の前期課程または修士課程の目的に応じ、適当と認められるときは、特定の課題についての研究成果の審査をもって学位論文の審査に代えることができます。(学則第17条、学位規程第3条、第7条、第8条、第11条)

II 学籍関係の概略

1. 学籍番号

入学手続を完了した者に対しては学籍番号が決められ、学生証に記入されます。この番号は学生として登録されたことを表し、受験または各種証明書交付願等の場合、必ず研究科、専攻、氏名と共に、この学籍番号を記入しなければなりません。

2. 身上異動届

本籍、現住所、姓名等で身上に変更事項のあった場合は、速やかに届け出る必要があります。特に在学中における現住所については、届け出を正確にしなければ緊急連絡のある場合、思わぬ不利益を招くこととなりますから注意してください。

なお、現住所・電話番号の変更ならびに改姓の手続きは、近大UNIPAから手続きが必要です。(詳しくは、近畿大学webサイトを参照ください)

3. 退学・休学・再入学・除籍・復学

- (1) 病気その他やむを得ない理由で退学する場合、または休学する場合は、学生証を添付して届け出なければなりません。(学則第39条・第40条・第41条)
- (2) 退学した者が、再び学業を続けようとする場合は、研究科委員会の議を経れば再入学が許可されます。ただし、退学の日より長期にわたる場合は試験を実施し、その上で許可する場合があります。また学年の始めでないと許可されません。(学則第42条)
- (3) 学費を期限までに納入しない場合は、学則の定めるところにより除籍され、学生の身分を失うことになります。(学則第41条・第46条)
- (4) 除籍された者が学籍の復帰を希望するときは、所定の期間内に手続をした場合、選考の上復籍が許可されます。ただし除籍の日から所定の期間を経過した場合は許可されません。

Ⅲ 修士論文の作成

1. 提出資格

修士課程に2年以上在学して正規の授業を受け、既に所定の単位を修得した者または修士論文（または特定の課題についての研究成果）審査終了までに修得する見込みのある者で、かつ外国語（1ヶ国語）の読解力等に関する検定に合格した者とする。

2. 提出期限

修士課程を修了する年度の1月又は7月の末日までとする。(学位規定第7条)

3. 提出先

文芸学部学生センター・総合社会学部学生センターとする。

4. 提出書類

- (1) 近畿大学修士論文審査および最終試験受験申請書（付表1）
- (2) 修士論文（または特定の課題についての研究成果）
- (3) 修士論文内容の要旨（または研究成果内容の要旨）

5. 修士論文作成上の注意事項

修士論文および修士論文内容の要旨は、下記の様式に従って作成しなければ受理されません。

なお、修士論文に代えて、特定の課題についての研究成果を提出する場合には、作成方法などについては別途定めますので、参照してください。

【日本文学専攻、英語英米文学専攻、文化・社会学専攻、心理学専攻 共通】

- (1) 修士論文および修士論文内容の要旨は、Word等の文書作成ソフトを使用して作成すること。
- (2) 修士論文表紙、修士論文内表紙、修士論文内容の要旨の表紙は所定の様式により作成すること（付表2・3・4・5）

【日本文学専攻】

- (1) 修士論文
 - ① 枚数は図表も含めA4用紙（1200字）35枚程度とする。ただし必要のある場合は、指導教員の了解のもとで枚数増加が認められる。
 - ② 原則として縦書きとする。ただし、指導教員の了解のもとで横書きも認められる。
- (2) 修士論文内容の要旨
 - ① 枚数はA4用紙（1200字）4枚程度とする。
 - ② 原則として縦書きとする。ただし、指導教員の了解のもとで横書きも認められる。

【英語英米文学専攻】

(1) 修士論文

- ① 使用言語は英語とする。
- ② 基本的にMLAスタイル(『MLAハンドブック第8版』に準拠)、またはAPAスタイルで作成する。1行66ストローク、1頁25行とする。
- ③ 枚数は40枚程度とする。

(2) 修士論文内容の要旨

- ① 使用言語は日本語とする。
- ② 枚数はA4用紙(横40字×縦30行の1200字)3枚程度とする。
- ③ 横書きとする。

【文化・社会学専攻、心理学専攻 共通】

(1) 修士論文

- ① 使用言語は原則として日本語とする。
- ② 枚数は図表も含めA4用紙(1200字)35枚程度とする。ただし必要のある場合は、指導教員の了解のもとで枚数増加が認められる。
- ③ 原則として横書きとする。ただし、指導教員の了解のもとで縦書きも認められる。

(2) 修士論文内容の要旨

- ① 使用言語は原則として日本語とする。
- ② 枚数はA4用紙(1200字)4枚程度とする。
- ③ 横書きとする。

6. 修士論文審査料(手数料)

無料です。

7. 修士の学位授与までの手順

- (1) 論文の提出 本文を参照して論文を作成し、「近畿大学修士論文審査および最終試験受験申請書」(付表1)に必要事項を記入のうえ、文芸学部学生センター・総合社会学部学生センターへ提出する。
- (2) 論文の受付 文芸学部学生センター・総合社会学部学生センターは修士論文内規に照らし、不備のないことを確認して受付ける。
- (3) 論文の審査 研究科委員会で決定・承認された主査・副主査がこれにあたる。
- (4) 発表会 修士論文提出者はその成果を発表する。発表時間は、一人20分(質疑応答含む)とする。発表会には、主査・副主査・副査・研究科専任教員全員、修士論文提出者、大学院総合文化研究科修士課程在籍の全員が出席する。
- (5) 最終試験 提出論文に関して審査委員(主査・副主査・副査)による口答もしくは筆記試験が行なわれる。

IV 博士前期課程より博士後期課程に進む場合

博士前期課程(総合文化研究科の場合は修士課程)より博士後期課程(総合文化研究科の場合は他大学等の博士後期課程)に進む場合は、学位規程別表1(23頁)に記載された修士論文提出に必要な単位数を修得し、進学試験に合格しなければなりません。

本学においては、博士前期課程に2年以上在学し、所定の単位数を修得した者に対しては修士論文の提出を求め、修士として前期課程を修了するように指導している関係で、博士後期課程に進む者は必ず修士の学位をもっているということになります。この場合は、博士後期課程の進学試験に合格しなければなりません。(学則第36条、第37条)

V 資格取得 教育職員免許状（中学校・高等学校専修）

中学校・高等学校教諭一種免許状をすでに取得しているものが、本学大学院博士前期課程（修士課程）を修了と同時に免許状の授与申請をすれば、中学校・高等学校教諭専修免許状を取得することができます。ただし、中学校教諭専修免許状を取得できるのは、総合理工学研究科・総合文化研究科・農学研究科・生物理工学研究科・システム工学研究科・産業理工学研究科です。（学則第13条・第14条）

総合文化研究科では中学校専修免許（国語・英語・社会）および高等学校専修免許（国語・英語・地理歴史・公民）を大学院・共通教育学生センターに申請すれば、取得することができます。免許の種類・取得条件はつぎのとおりです。

日本文学専攻

中学校・高等学校専修免許（国語）

	授業科目	単位	高等学校	中学校	備考		授業科目	単位	高等学校	中学校	備考
教科に関する科目	古典詩歌特論A	2	○	○		教科に関する科目	近現代文学特論1B	2	○	○	
	古典詩歌特論B	2	○	○			近現代文学特論2A	2	○	○	
	古典散文特論1A	2	○	○			近現代文学特論2B	2	○	○	
	古典散文特論1B	2	○	○			日本語学特論1A	2	○	○	
	古典散文特論2A	2	○	○			日本語学特論1B	2	○	○	
	古典散文特論2B	2	○	○			日本語学特論2A	2	○	○	
	近世文学特論A	2	○	○			日本語学特論2B	2	○	○	
	近世文学特論B	2	○	○			創作・批評特論1A	2	○	○	
	近現代文学特論1A	2	○	○			創作・批評特論1B	2	○	○	
【取得条件】 上記の科目から24単位以上修得すること											

英語英米文学専攻

中学校・高等学校専修（英語）

	授業科目	単位	高等学校	中学校	備考		授業科目	単位	高等学校	中学校	備考
教科に関する科目	ルネサンス文学特論A	2	○	○		教科に関する科目	英語圏文学特論B	2	○	○	
	ルネサンス文学特論B	2	○	○			英語教育学特論A	2	○	○	
	イギリス近現代文学特論A	2	○	○			英語教育学特論B	2	○	○	
	イギリス近現代文学特論B	2	○	○			応用言語学特論A	2	○	○	
	英米文化特論A	2	○	○			応用言語学特論B	2	○	○	
	英米文化特論B	2	○	○			英米文学理論特論	2	○	○	
	アメリカ近現代文学特論A	2	○	○			中世英文学特論	2	○	○	
	アメリカ近現代文学特論B	2	○	○							
	英語圏文学特論A	2	○	○							
【取得条件】 上記の科目から24単位以上修得すること											

文化・社会学専攻

中学校専修（社会）

高等学校専修（地理歴史・公民）

	授業科目	単位	高等学校		中学校	備考	授業科目	単位	高等学校		中学校	備考
			地理歴史	公民	社会				地理歴史	公民	社会	
教科に関する科目	日本古代史特論A	2	○		○		多文化社会特論1A	2		○	○	
	日本古代史特論B	2	○		○		多文化社会特論1B	2		○	○	
	日本中近世史特論A	2	○		○		都市学特論A	2	○		○	
	日本中近世史特論B	2	○		○		都市学特論B	2	○		○	
	日本近現代史特論A	2	○		○		都市政策特論A	2		○	○	
	日本近現代史特論B	2	○		○		都市政策特論B	2		○	○	
	考古学特論A	2	○		○		地域政策特論A	2		○	○	
	考古学特論B	2	○		○		地域政策特論B	2	○		○	
	西洋古代史特論A	2	○		○		地域社会特論A	2	○		○	
	西洋古代史特論B	2	○		○		地域社会特論B	2	○		○	
	西洋近現代史特論A	2	○		○		地理情報学特論A	2	○		○	
	西洋近現代史特論B	2	○		○		地理情報学特論B	2	○		○	
	エジプト学特論A	2	○		○		自然環境特論A	2	○		○	
	エジプト学特論B	2	○		○		自然環境特論B	2	○		○	
	東洋文化特論A	2	○		○		まちづくり特論A	2		○	○	
	東洋文化特論B	2	○		○		まちづくり特論B	2		○	○	
	人文地理学特論A	2	○		○		環境情報科学A	2	○		○	
	人文地理学特論B	2	○		○		環境情報科学B	2	○		○	
	哲学・倫理学研究A	2		○	○		地域経済学特論A	2		○	○	
	哲学・倫理学研究B	2		○	○		地域経済学特論B	2		○	○	
	ジェンダー研究A	2		○	○		国際交流特論A	2		○	○	
	ジェンダー研究B	2		○	○		国際交流特論B	2		○	○	
	メディア研究A	2		○	○		国際地域社会特論A	2		○	○	
	メディア研究B	2		○	○		国際地域社会特論B	2		○	○	
現代社会特論1A	2		○	○		地域社会基盤特論A	2	○		○		
現代社会特論1B	2		○	○		地域社会基盤特論B	2	○		○		
現代社会特論2A	2		○	○								
現代社会特論2B	2		○	○								

【取得条件】

上記の該当する免許の科目（○印の科目）から24単位以上修得すること

心理学専攻

高等学校専修（公民）

	授業科目	単位	高等学校	備考	授業科目	単位	高等学校	備考
教科に関する科目	心理学研究法特論A	2	○		国際地域社会特論A	2	○	
	心理学研究法特論B	2	○		国際地域社会特論B	2	○	
	基礎心理学特論	2	○		医療心理学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2	○	
	人格心理学特論	2	○					
	認知心理学特論	2	○		犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	○	
	人間関係特論A	2	○					
	人間関係特論B	2	○					
	産業心理学特論	2	○					
	国際交流特論A	2	○					
	国際交流特論B	2	○					

【取得条件】

上記の科目から24単位以上修得すること

VI 証明書等発行手数料一覧

種 別		金 額	種 別		金 額	
科目等履修生 登録料	大 学 院	本学大学院在籍者及び び修了者(中途退学 者を含む)は、免除	20,000円	証明書及び 手数料	仮学生証発行	500円
		講義科目 1単位 実験・実習・演習科目 1単位	20,000円 30,000円		成績証明書 単位取得証明書 司書資格証明書 健康診断証明書 修了見込証明書 卒業見込証明書 在籍証明書 在学証明書	200円
証明書及び 手数料		学 費 延 滞 料	2,000円		教員免許状取得見込証明書	300円
		復 籍 料	10,000円		就 職 試 験 推 薦 状	300円
		学 生 証 再 発 行	1,500円		入 学 手 続 完 了 証 明 書	200円
		教員免許申請用単位取得証明書	1,000円			
		英 文 各 種 証 明 書	300円			
		修 了 証 明 書 卒 業 証 明 書 学 位 授 与 証 明 書	200円			

※一部の証明書はコンビニエンスストアで発行することができますが、手続き方法、金額は近畿大学webサイトにて確認してください。

Ⅶ 奨学金・教育ローンについて

経済的な理由で修学の道が閉ざされることがないように、様々な種類の奨学金・教育ローンがあります。奨学金の貸与を希望される方は、近畿大学HP (<https://www.kindai.ac.jp/campus-life/tuition-scholarships/>) を確認のうえ所定の期日に申し込んでください。



詳細はこちら

1 日本学生支援機構（定期採用）

日本学生支援機構（JASSO）の奨学金は、国が実施する貸与型の奨学金制度です。

資格基準

《人物》

高度の研究能力を有し、経済的理由により、修学に困難があると認められる人。

《学力》

博士前期課程及び修士課程

大学等ならびに大学院における成績が特に優れ、将来、研究能力または高度の専門性を要する職業等に必要の高度の能力を備えて活動することができるものと認められること。

博士後期課程及び博士課程

大学等ならびに大学院における成績が特に優れ、将来、研究者として自立して研究活動を行い、またはその他の高度に専門的な業務に従事するために必要の高度の研究能力を備えて活動することができるものと認められること。

収入所得の上限額の目安

	課 程	給与所得者の場合	給与所得者以外の場合
第一種 授業料後払い制度	修 士 課 程	299 万円	197 万円
	博 士 前 期 課 程		
	博 士 後 期 課 程 医・薬学博士課程	340 万円	223 万円
第二種	修 士 課 程	536 万円	364 万円
	博 士 前 期 課 程		
	博 士 後 期 課 程 医・薬学博士課程	718 万円	503 万円
併用 [第一種・第二種 同 時貸与]	修 士 課 程	284 万円	188 万円
	博 士 前 期 課 程		
	博 士 後 期 課 程 医・薬学博士課程	299 万円	197 万円

貸与期間 貸与期間は、採用時から各課程の最短修業の最後までとします。

申込期間 4月上旬

貸与月額 令和8年度採用者用

第一種 貸 与 (無利子) 選択型	課 程	貸与月額
	修 士 課 程	50,000 円 または 88,000 円
	博 士 前 期 課 程	
博 士 後 期 課 程 医・薬学博士課程	80,000 円 または 122,000 円	

第二種 貸 与 (有利子) 選択型	希望する奨学金の月額を次の中から選べます。 50,000 円・80,000 円・100,000 円・130,000 円・ 150,000 円（貸与途中で月額を変更することも できます）

授業料後払い制度の貸与額（一種併用不可）

奨学金の内訳	大学院の課程の区分
	修士課程相当
授業料支援金	私立： 最大 776,000 円 (1年間の額。この額を「支援対象授業料」といい、学校が金額を決定します。)に、 保証料相当額を加えた額 ※申込者は支援対象授業料の額を選択することはできません。支援対象授業料の 額は、学校が課している授業料の状況（納付済みの授業料や授業料減免等）に よって変動することがあります。
生活費奨学金	月額0円（利用しない）、2万円、4万円から選択

<p>1 日本学生支援機構 (定期採用)</p>	<p>授業料後払い制度は、授業料に充てるために授業料が生じる時期に応じて貸与される「授業料支援金」と、生活費に充てるために毎月貸与される「生活費奨学金」で構成されています。なお、「生活費奨学金」のみの申込みはできません。</p> <p>授業料後払い制度は、修士課程相当でのみ利用できます。そのため、一貫制博士課程の場合、前期課程でのみ利用できます。</p> <p>○ 奨学金の貸与に当たっては、連帯保証人や保証人を選任する「人的保証制度」か、一定の保証料を支払い保証を受ける「機関保証制度」を選択しなければなりません。</p> <p>○ その他、家計急変世帯を対象とした、緊急採用・応急採用制度があります。</p> <p>奨学金の詳細は次をご参照ください。</p> <p>独立行政法人 日本学生支援機構ホームページ https://www.jasso.go.jp/</p> <p>※「特に優れた業績による返還免除」制度について</p> <p>大学院において第一種奨学金の貸与を受けた学生であって、在学中に特に優れた業績を挙げた者として日本学生支援機構が認定した場合には、貸与期間終了時に奨学金の全部または一部の返還が免除される制度です。貸与終了年度の1月ごろに募集します。</p>
<p>2 近畿大学奨学金 (貸与)</p>	<p>大学独自の貸与型奨学金で年額（一年分）を一括して貸与します。</p> <p>貸与された奨学金は卒業後に返還します。</p> <p>申込資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の定める家計基準を超えない人。 ・ 人物・学業ともに優秀でありながら、経済的理由により修学が困難な人。 <p>貸与金額</p> <p>年額 600,000 円（無利息）</p> <p>貸与期間</p> <p>申込年度限りです。（毎年申込可能）</p> <p>申込期間</p> <p>4月上旬</p> <ul style="list-style-type: none"> ※ 採用手続時に連帯保証人2名が必要です。 ※ その他、家計急変世帯を対象とした「応急奨学金」、災害に遭われた世帯を対象とした「災害特別 奨学金」があります。奨学金の詳細は次をご参照ください。 <p>近畿大学ホームページ https://www.kindai.ac.jp/campus-life/tuition-scholarships/</p> <p>交付時期</p> <p>7月下旬（全キャンパス・一括振込）</p>
<p>3 世耕弘一奨学金 (給付)</p>	<p>大学独自の給付型奨学金で年額（一年分）を一括して給付します。</p> <p>返還の義務はありません。</p> <p>申込資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本学の定める家計基準を超えない人。 ・ 他の給付奨学金を受給していない者、もしくは特待生制度等で学費の減免制度の適用を受けていない者。 <p>給付金額</p> <p>年額 300,000 円（一括給付）</p> <p>申込年度限りです。（毎年申込可能）</p> <p>申込時期</p> <p>6月（全キャンパス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ※詳細は各キャンパスで配布する募集要項をご覧ください。 <p>給付時期</p> <p>9月末（全キャンパス）</p>
<p>4 地方公共 体の奨学金</p>	<p>地方公共団体・民間育英団体については、ホームページや奨学金専用掲示板で周知します。</p> <p>募集期間は、おおむね2月～4月となっています。</p> <p>これ以外に各都道府県が独自に募集を行う場合もあります。独自で募集を行っている奨学団体については各自が直接奨学団体等に問い合わせください。</p>

<p>5 その他の教育ローン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・提携ローン「オリコ学費サポートプラン」 <ul style="list-style-type: none"> 近畿大学が株式会社オリエントコーポレーション（通称オリコ）とローン提携したもので、学費等をオリコが立替払いして大学に納付し、利用者はオリコに分割返済することで一時的な負担を軽減することができます。 ※ オリコ学費サポートプランの詳細は次を参照 <ul style="list-style-type: none"> 近畿大学ホームページ https://www.kindai.ac.jp/campus-life/tuition-scholarships/ ・国の教育ローン（日本政策金融公庫の教育ローン） <ul style="list-style-type: none"> 取扱い、ご相談は最寄りの日本政策金融公庫、銀行、信用金庫、信用組合、労働金庫、農協、漁協で受け付けています。 （利率：令和7年9月現在で年3.15%交通遺児家庭、母子家庭、父子家庭、世帯年収200万円（所得132万円）以内の方） または子ども3人以上※の世帯かつ世帯年収500万円（所得356万円）以内の方は上記利率の▲0.4%（国定金利） ※ お申込みいただく方の世帯で扶養しているお子様の人数をいいます。年齢、就学の有無を問いません。
------------------------	--

付 表

(付表 1)

学籍番号

近畿大学修士論文審査および最終試験受験申請書

近 畿 大 学

学 長 松 村 到 殿

20●● 年 月 日

学位申請者

申請学位	修 士 (学)
指導教員 (専修科目)	()
研究科専攻 (ふりがな)	研究科 専攻
氏 名	
生年月日	年 月 日

近畿大学学位規程第7条の規定により修士論文の審査および
最終試験の受験を申請いたします。

論文題目

添付書類

- ・ 論 文
- ・ 論文内容の要旨

(注)「論文・内容の要旨」は本学規定の書式によること。

(A4版)

(修士学位申請用)

(付表 2)

論文表紙、論文内表紙、論文内容の要旨表紙例

(日本文学専攻)

論文表紙

近畿大学大学院 総合文化研究科日本文学専攻	(論文題目)	二〇●●年一月 修士論文
(氏名)		
(コース名)		

(A 4 版)

論文内表紙

近畿大学大学院 総合文化研究科日本文学専攻	(論文題目)	二〇●●年一月
(氏名)		
(コース名)		

(A 4 版)

論文要旨

近畿大学大学院 総合文化研究科日本文学専攻	(論文題目)	二〇●●年一月 修士論文要旨
(氏名)		
(コース名)		

(A 4 版)

(付表 3)

論文表紙、論文内表紙、論文内容の要旨表紙例

(英語英米文学専攻)

論文表紙

GRADUATION THESIS
(英文タイトル) _____

(英文氏名) _____

English Linguistics and Literature major Graduate School of Interdisciplinary Human Studies
January 20●●
KINDAI UNIVERSITY

(A 4 版)

論文内表紙

GRADUATION THESIS
(英文タイトル) _____

A Thesis Presented to English Linguistics and Literature major Graduate School of Interdisciplinary Human Studies Kindai University
In Partial Fulfillment of the Requirements for the Degree of Master of Arts
by
(英文氏名) _____
January 20●●

(A 4 版)

論文要旨

修士論文要旨
(論文題目) _____

近畿大学大学院 総合文化研究科 英語英米文学専攻
20●●年 1 月
(氏名) _____

(A 4 版)

(付表 4)

論文表紙、論文内表紙、論文内容の要旨表紙例

(文化・社会学専攻)

論文表紙

<p>修 士 論 文</p> <p>(論文題目)</p> <hr/> <p>(提出者氏名)</p> <hr/> <p>近畿大学大学院 総合文化研究科 文化・社会学専攻</p> <p>(コース名)</p> <hr/> <p>20●●年 1 月 近畿大学</p>

(A 4 版)

論文内表紙

<p>(論文題目)</p> <hr/> <p>(提出者氏名)</p> <hr/> <p>近畿大学大学院 総合文化研究科 文化・社会学専攻</p> <p>(コース名)</p> <hr/> <p>20●●年 1 月</p>

(A 4 版)

論文要旨

<p>修 士 論 文 要 旨</p> <p>(論文題目)</p> <hr/> <p>(提出者氏名)</p> <hr/> <p>近畿大学大学院 総合文化研究科 文化・社会学専攻</p> <p>(コース名)</p> <hr/> <p>20●●年 1 月</p>
--

(A 4 版)

(付表 5)

論文表紙、論文内表紙、論文内容の要旨表紙例

(心理学専攻)

論文表紙

<p>修 士 論 文</p> <p>(論文題目)</p> <hr/> <hr/> <p>(提出者氏名)</p> <hr/> <p>近畿大学大学院 総合文化研究科 心理学専攻</p> <p>(コース名)</p> <hr/> <p>20●●年 1 月 近畿大学</p>
--

(A 4 版)

論文内表紙

<p>(論文題目)</p> <hr/> <hr/> <p>(提出者氏名)</p> <hr/> <p>近畿大学大学院 総合文化研究科 心理学専攻</p> <p>(コース名)</p> <hr/> <p>20●●年 1 月</p>
--

(A 4 版)

論文要旨

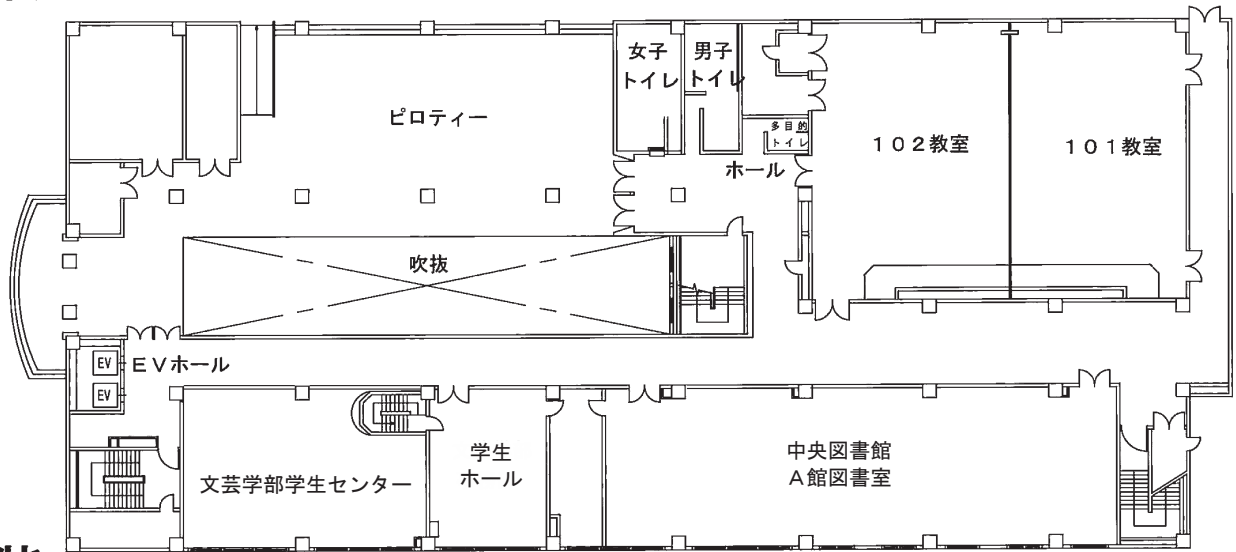
<p>修 士 論 文 要 旨</p> <p>(論文題目)</p> <hr/> <hr/> <p>(提出者氏名)</p> <hr/> <p>近畿大学大学院 総合文化研究科 心理学専攻</p> <p>(コース名)</p> <hr/> <p>20●●年 1 月</p>

(A 4 版)

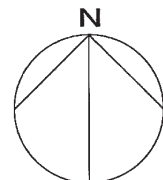
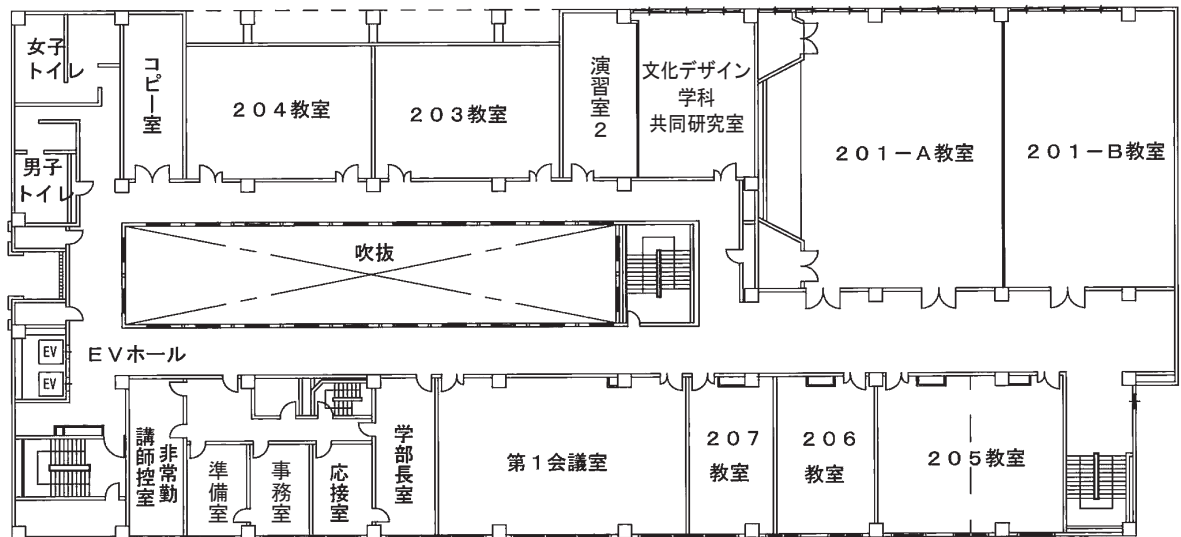
教室等配置図

A 館

1階

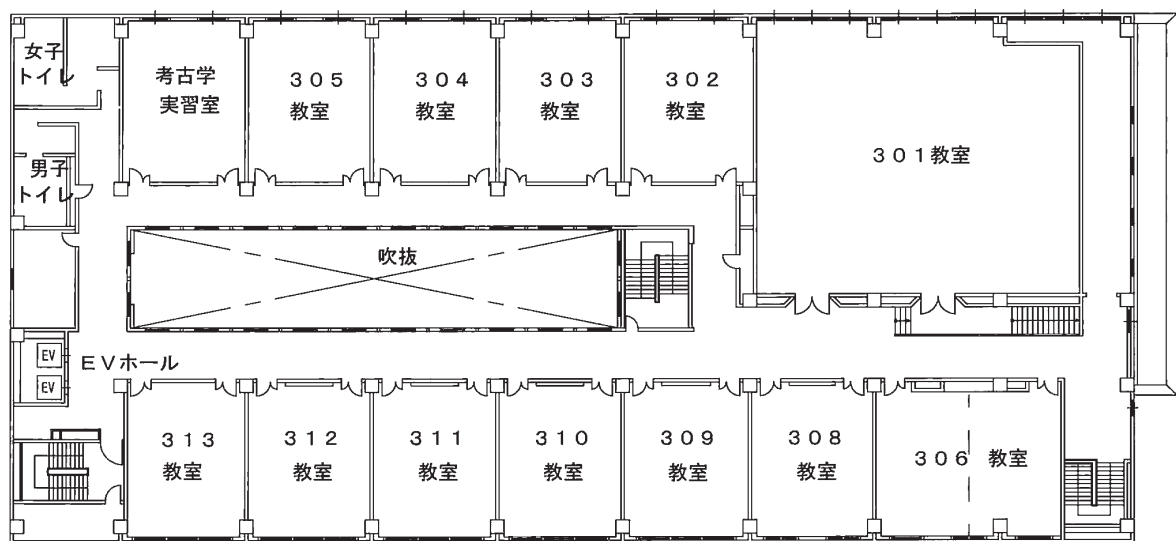


2階

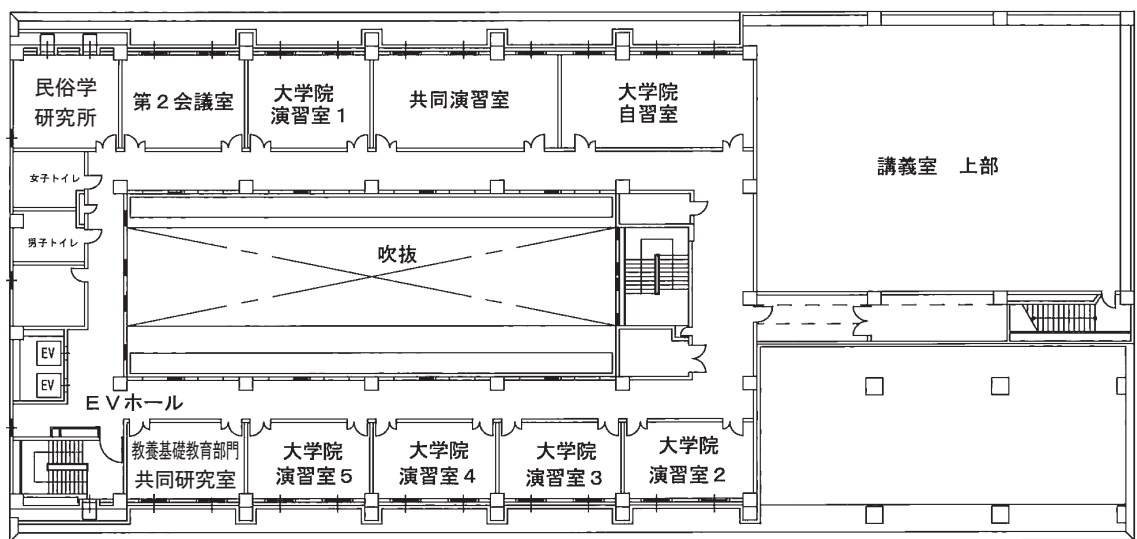


A 館

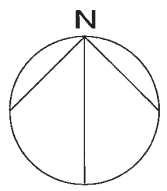
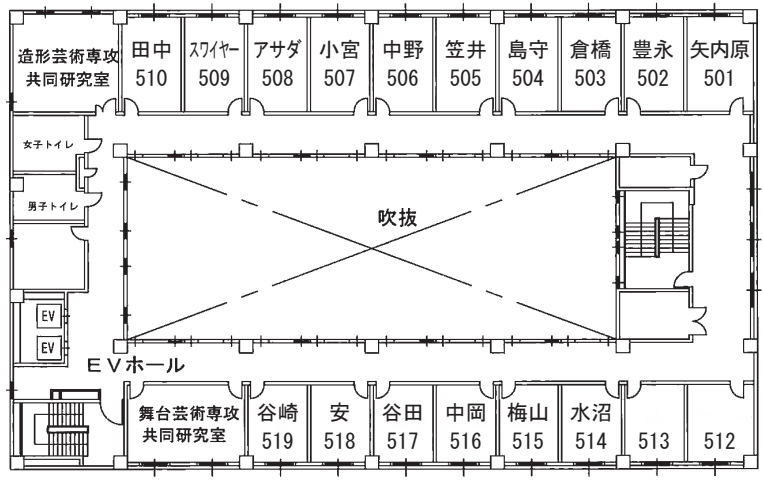
3階



4階

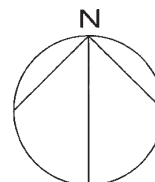
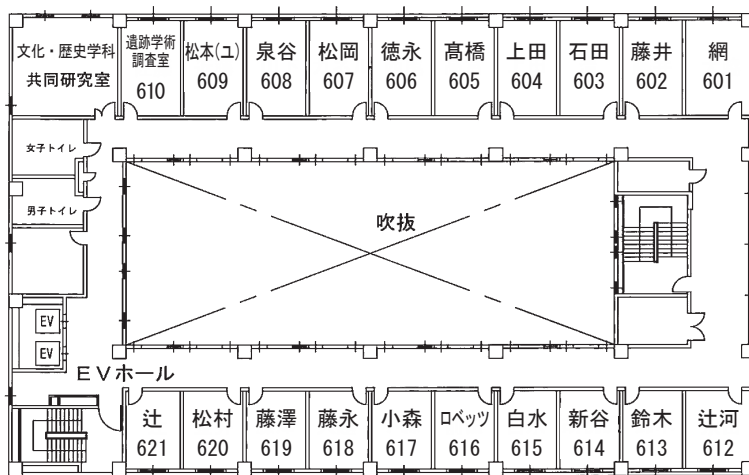


5階

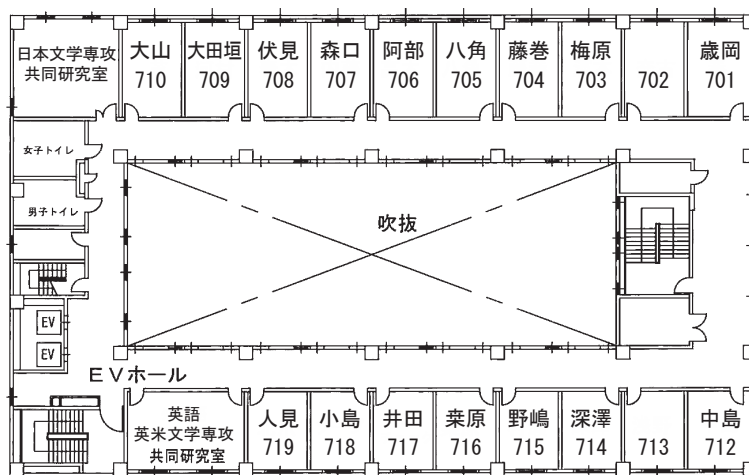


A 館

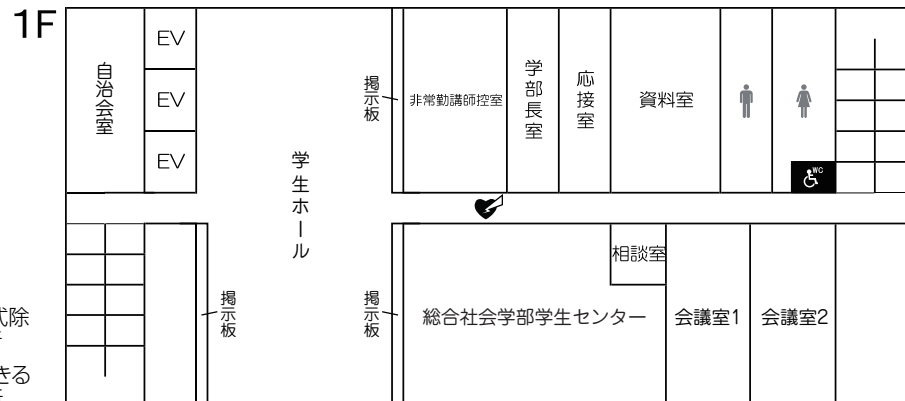
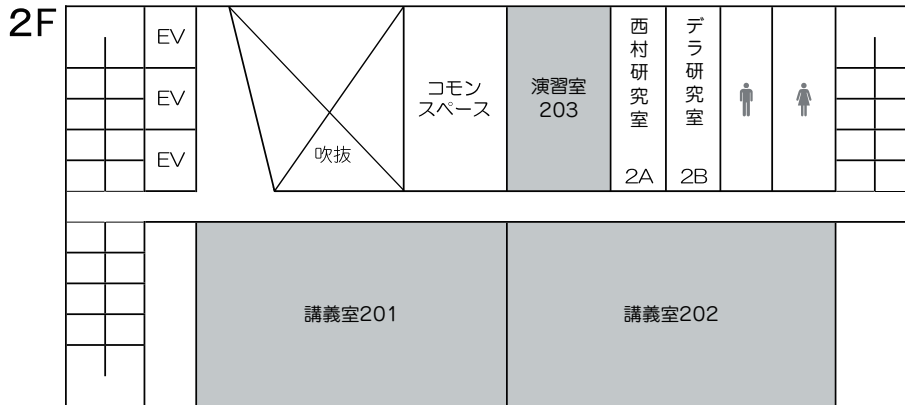
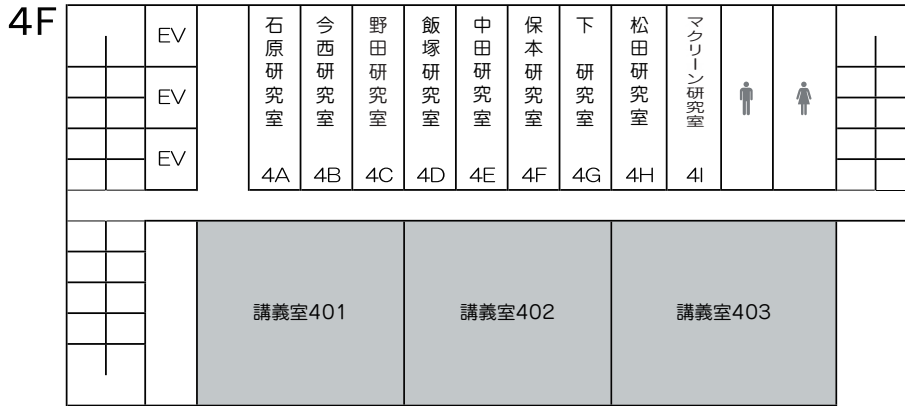
6階



7階



講義室等配置図 (G館)



♥ = AED(自動体外式除細動器)設置場所

♿ = 車椅子で利用できるトイレの設置場所

8F

	EV	村松研究室	二木研究室		寺本研究室	金井研究室	西尾研究室	北川研究室	藤田研究室	内海研究室			
	EV	8A	8B	8C	8D	8E	8F	8G	8H	8I	♂	♀	
	EV												
		講義室 801	講義室 802	講義室 803	講義室 804	講義室 805	大学院 自習室						

7F

	EV	高橋研究室	漆原研究室	佐藤研究室	上野研究室	遠藤研究室	小泉研究室	小林研究室	田中研究室	大野研究室			
	EV	7A	7B	7C	7D	7E	7F	7G	7H	7I	♂	♀	
	EV												
		面接室	心理学 準備室	心理学 実験室 1	心理学 実験室 2	心理学 実験室 3	心理学 実験室 4	心理学 実験室 8	実習室 701	実習室 702	実習室 703		
		観行 動室		心理学 実験室 5	心理学 実験室 6	心理学 実験室 7							



6F

	EV	岡本研究室	豊永研究室	松本研究室	岡野研究室	西川研究室	辻研究室	堀田研究室	塩崎研究室	中川研究室			
	EV	6A	6B	6C	6D	6E	6F	6G	6H	6I	♂	♀	
	EV												
		講義室 601	講義室 602	講義室 603	講義室 604								

5F

	EV	齋藤研究室	鈴木光祐研究室	リカフイカ研究室	奥野研究室	直井研究室	本岡研究室	好並研究室	須賀井研究室	朱研究室			
	EV	5A	5B	5C	5D	5E	5F	5G	5H	5I	♂	♀	
	EV												
		講義室 501	講義室 502	講義室 503	講義室 504								

大学院に関する情報閲覧のご案内

近畿大学大学院学則

<https://www.kindai.ac.jp/about-kindai/overview/regulations/>



学位論文審査に関する手引きについて

<https://www.kindai.ac.jp/graduate/review/>



総合文化研究科履修要項 2026

2026.4 印刷発行

発行者 近畿大学 大学院総合文化研究科

編集 近畿大学 大学院総合文化研究科

所在地 〒577-8502 東大阪市小若江 3-4-1

電話番号 文芸学部学生センター (06)4307-3061

総合社会学部学生センター (06)4307-3062

インターネット版シラバス

下記のアドレスでもシラバスを公開しています。

<https://syllabus.itp.kindai.ac.jp/customer/Form/sy01000.aspx>

※インターネット版シラバスでは、専攻名以外にも、キーワードや、開講年次、単位、開講期、科目区分、必修・選択の別などの科目属性からシラバスを検索することができます。

 近畿大学